

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		財政管理事務		担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2711
総合計画	大項目	6	みんなで創る協働のまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	将来に向けた持続可能なまちづくり		根拠法令 個別計画等				
	小項目	3	行財政運営の推進						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		効果的で効率的な財政運営のために、市の財政について電算システムによる運営管理や、関係する制度および動向等の情報収集を行うことで有効な財政運営につなげるものである。							
目的 ※何のために		効果的で効率的な財務環境の維持管理のため。							
対象 ※誰・何を対象に		市財政							
手段 ※どのように		電算システムによる運営管理や、市財政に関係する制度や動向等の情報収集を行う。							
成果 ※何を求めるか		適切な財務環境の提供と財務会計業務の省力化。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を 構成する 予算事業	区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	3	行財政管理費	行財政管理事務費	20,485,756
本事業の 主な業務	・ 財政見通しの策定・管理							・	
	・ 使用料・手数料の見直し							・	
	・ 補助金の見直し							・	
	・ 財務システムの運営管理							・	
	・ 予算配当(当初、配当替、流用、予備費充用)							・	
	・ 特別会計との調整							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		財務会計システム保守・リース 統一的な基準による公会計委託料 水道事業会計繰出金	財務会計システム保守・リース 統一的な基準による公会計委託料 水道事業会計繰出金	財務会計システム保守・リース 統一的な基準による公会計委託料 水道事業会計繰出金	財務会計システム保守・リース 統一的な基準による公会計委託料	財務会計システム利用料 統一的な基準による公会計委託料	財務会計システム利用料
事業費	予算(現額)	24,195,000	22,984,000	96,504,000	14,948,000	20,487,000	13,763,000
	決算額	24,189,763	22,470,962	96,499,272	14,931,714	20,485,756	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	82,100,000	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	24,189,763	22,470,962	14,399,272	20,485,756	13,763,000
人件費	従事職員数(人)	1.12	1.27	1.42	1.31	1.31	1.29
	人件費相当試算※	8,712,480	9,883,140	11,162,620	10,658,160	10,168,109	10,489,439
	総事業費試算	32,902,243	32,354,102	107,661,892	25,589,874	30,653,865	24,252,439

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	目標値の算定根拠/実績値の出所		実績値							
	実績値の算出式									
活動指標 1	財政見通しの見直し回数	目標値	回	1	1	1	1	1	1	
		実績値		1	1	1	1	2	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		毎年度の決算を反映し、最新状態に更新する							
	実績値の算出式									
活動指標 2	システム保守回数	目標値	回	12	12	12	12	12	0	
		実績値		12	12	12	12	12	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		財務会計システムの安定稼働のため、適切に保守を行う。／実績							
	実績値の算出式									
成果指標 1	システムトラブル数	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0		
	目標値の算定根拠/実績値の出所		適切な保守を行い、トラブルを未然に防ぐ。 / 業務安定システム事務処理対応票							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	財政見直しについて、令和2年度の決算統計数値や、大規模事業調査、市税・人件費推計を踏まえ、適切に更新作業を実施し、令和4年度予算編成への活用を図った。また、令和4年度に、第2次深谷市総合計画後期基本計画策定が予定されていたことから、計画に掲載するための財政見通しの基礎となるデータを前倒しで収集し、再度最新の財政見直しに更新を行った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	新旧両財務会計システム共に業務継続に支障をきたすようなシステムトラブルは発生しなかった。安定したシステム環境を維持・提供できた。
			評価者 財政課 財政係長 堀口浩正

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	B	新財務会計システムにおける予算執行が開始され、機能を最大限活用した効率的な運用に努めた。一方で、予算流用や配当替処理等については、原則紙出力した伝票を受理し処理しているため、電子化を進める必要がある。
			評価者 財政課 財政係長 堀口浩正

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	持続可能な財政運営と市民満足度の高い施策の実現に向けた効果的な資源配分の向上のため、各種計画の財政需要に対応した財源の確実性・予見性をもった複数年にわたる基本的なプログラムを構築する必要がある。
達成状況及び その効果	持続可能な財政運営と市民満足度の高い施策の実現に向け、深谷市総合計画後期基本計画の策定を見据えた財政見通しの更新を前倒しで実施した。将来の財政需要を的確に把握し、予算編成に繋げるための基礎を築くことができた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	財政管理事務	担当課	財政課	担当係	財政係	管理番号	2711
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		<div>評価の内容説明</div> <div>持続可能な財政運営に向け、財政見通しに基づく財政規模を踏まえた予算編成の定着化が図られている。今後も財政見通しを適切に更新するとともに、予算編成に活用し、良好な財政状況の維持に努めていく。 財務会計システムについては、新システムで予算執行が開始され、円滑な財務事務を行うことができた。一方で各種伝票については、紙ベースでの運用となっていることから、ペーパーレス化等の電子化を進める必要がある。</div>					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	財政課長 及川勝隆				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	予算流用や予算配当替等の事務処理について、現状の運用に加えて、所管課から引き継ぐ書類を電子化し、メールやロゴチャットを活用して送受信を可能とすることで、職員の移動時間や事務処理時間の縮減を図る。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

